

第三評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

共通評価基準（45 項目）

評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<コメント> ・理念や基本方針について、保護者への周知が求められる。また、わかりやすく説明した資料等を作成するなど、積極的な取組が望まれることから、b 評価とした。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	c
<コメント> ・近隣の法人が集まって、地域貢献についての検討を始めたとのことで、今後の取組が期待される。 ・経営状況については、毎理事会ごとにチェックされているが、分析までは至っていないことから、c 評価とした。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	c
<コメント> ・定期的な状況把握、分析までは至っていない。 ・施設が急傾斜地等の災害危険区域にあるため、建物の増築や新築が難しいとのことであった。建物が老朽化して修繕では追いつかなくなる場合などを想定した、長期的視野に基づく取組の検討等が望まれることから、c 評価とした。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
<コメント> ・中長期計画の策定が求められることから、c評価とした。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
<コメント> ・単年度ごとの事業計画となっている。中長期計画の策定が求められることから、c評価とした。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<コメント> ・事業計画を理事会へ上程する際に、職員会議で各「家」の意見を基に、リーダー会議で決められている。 ・事業計画の策定の手順を定めることが求められることから、b評価とした。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	c
<コメント> ・子どもや保護者へ説明する取組が求められることから、c評価とした。		

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<コメント> ・年1回の自己評価と定期的な第三者評価を受審している点は、評価できる。 ・加えて、職員と子どもからのヒアリング→課題抽出→5つのアクションプラン「NAP5」、という行動指針を策定し、これからPDCAのC（見直し）に入るとのことである。今後の取組が期待される。 ・養育向上ネットワークで課題把握に努めているが、その担当者以外の職員への周知が求められることから、b評価とした。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b

<コメント>

- ・質の向上に向けて取り組んでいるので、今後は、PDCAのC（評価）、A（見直し）が求められることら、b評価とした。

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<コメント> ・施設長の思いや方針等を広報誌にて表明している。 ・施設長不在時の役割分担等は口頭でなされているが、不在時の権限委任等を明文化することが求められる。今後、策定予定とのことであり、期待されることから、b評価とした。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	c
<コメント> ・法令集は作成されていたが、育児・介護休業法が平成29年10月改正に対応していなかった。法の改正等に敏感になり、最新の内容にすることが求められる。 ・児童福祉以外の法令についても、理解する取組が求められることから、c評価とした。		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> ・施設長が、職員の資質向上に関心を持ち、処遇会議の総評でコメントや改善指示を行うなど、意欲的に取り組んでいることから、a評価とした。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<コメント> ・求人を行ってもなかなか人材が集まらない中、管理宿直の導入や宿泊のない勤務条件での募集など、人材確保のため努力している。 ・人材が集まりにくい社会情勢であるが、職員も参画しての、より一層の経営改善・人材確保へ向けた取組が求められることから、b評価とした。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		

14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生による管理宿直や、宿泊のない勤務条件での募集、様々な求人誌への掲載など、努力をしている。また、職員の男女比率を均衡にする目標を達成した。 ・現状は、欠員補充で精一杯ではあるが、人員体制に関する基本的な考え方と方針を策定し、計画的な人事・育成をしていく必要があることから、c評価とした。 		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待する職員像を明文化している。 ・配置や異動、昇進等に関する人事基準の明確化が求められることから、b評価とした。 		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに宿泊の勤務のない勤務条件の求人募集をするなど、人材確保に努めている。また、年に3回、施設長が職員と面談し、意向の確認をしている。 ・今後、職員のワークライフバランスの向上を検討することであった。 ・「意向を確認し、改善する」ということをシステム化することが望まれることから、b評価とした。 		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長が年3回個人面談を行い、職員のスキルアップに努めている。 ・今年度より、職員一人ひとりの育成計画として、「支援上の目標を一つ、業務上の目標を二つ」設定して取り組んでいることは、高く評価できる。今後の取組に期待して、b評価とした。 		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修は、勤務体制を考慮して参加させている。 ・施設が職員に求める専門技術や資格を明示した、「職員の教育・研修に関する基本姿勢と計画」「個々の職員の研修計画」の策定が求められることから、b評価とした。 		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員に対して、年に1回は職場外の研修に参加させている。 ・個別的OJTを意識した取組が求められることから、b評価とした。 		

II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に実習生を受入れ、マニュアルにそったプログラムが実施されている。 ・社会福祉士の実習指導者を配置し、丁寧で充実した実習指導を行っていることから、a評価とした。 		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動は、フェイスブックで積極的に掲載されており、個別の法人資料等は広報誌、WAMNETで公開している。 ・ホームページの開設を検討されると良いことから、b評価とした。 		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約している会計士によるチェック体制を整えている。 ・外部監査実施に向けた準備の必要を感じているとのことであつたので、b評価とした。実現し、経営改善が図られることが期待される。 		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの希望によりスポーツ少年団、子ども会等に参加するなど、地域との交流を大切にしている。 ・休日の行事や試合は、担当職員が非勤務日であっても対応している。これについては、勤務対応か否かを明文化されたものがないので、明確化する必要があることから、b評価とした。 		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b

<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受入れマニュアルを策定し、事前オリエンテーションを行い、公文のボランティアについては、実際に園内研修に参加してもらうなど、積極的に取り組んでいる。 ・ボランティアへの支援について、簡単なことから始めるとよいと思われる。それが結果として人材養成にもつながる。今後の支援体制の充実を期待して、b 評価とした。 		
<p>II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が役員として、幼稚園や学校、地元社協に参画している。 ・今後は、関係機関とのネットワークづくりに取り組むとのことであり、b 評価とした。実現し、子どものより良い養育・支援につながることを期待される。 		
<p>II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>II-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に講堂を貸出しているが、施設の場所が地理的に不便なため、最近の利用申込みが少ないとのことであった。 ・今後、地域貢献について検討していくとのことである。社会福祉分野以外の機関とも連携するなど、斬新な発想をもって地域発展に貢献することが望まれることから、b 評価とした。 		
27	<p>II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、地域の民生委員・児童委員など福祉関係者との連絡会議等に参画して、地域のニーズを把握するところから始められるとよいと思われることから、c 評価とした。 		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。</p>		
28	<p>Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回の自己評価により気づきを得ているとのことである。第三者評価もよく活用されている。 ・子どもを尊重した養育・支援提供の見直しについて、思いついた時に実施するのではなく、 		

<p>定期的な機会を持つなど、システムとして構築することが大切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しの際に、ヒヤリハット報告についてもなされることが望まれる。 <p>以上のことから、b評価とした。</p>		
29	<p>Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した 養育・支援提供が行われている。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員倫理綱領、プライバシー規程が策定され、実際にプライバシーに配慮した心がけがなされている。 ・日々の実践から手順を導き出したマニュアルの策定が求められることから、b評価とした。 		
<p>Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	<p>Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情 報を積極的に提供している。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月に「分園」が開設されている。それを要覧にも反映するなど、定期的な見直しが必要であることから、b評価とした。 		
31	<p>Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等に わかりやすく説明している。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへわかりやすく説明するなどの配慮について、ルール化が必要であることから、b評価とした。 		
32	<p>Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援 の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の実践についてはケース記録で確認できた。しかし、引継ぎ等は書面で残すことが必要であることから、b評価とした。 		
<p>Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。</p>		
33	<p>Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取 組を行っている。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の嗜好調査、子ども会等のアンケートなどはあるが、総合的な満足度アンケートがないことから、b評価とした。今後、実施を検討しているとのことであり、期待される。 		
<p>Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能してい る。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決の仕組み、取扱要綱は整備されている。 ・子どもは第三者委員に会ったことがなく、名前表示のみになっている。職員の多くも会ったことがない。第三者委員による面談や聴き取り等、仕組みがより機能するような工夫が 		

求められることから、b評価とした。		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中舎縦割り施設で、子どもと職員の距離が近く、すぐに何でも相談できる体制にある。 ・意見箱等がないことから、b評価とした。子どもが環境や職員に慣れるまでの期間には言い出せないことも、ここで拾えるかもしれない。複数の方法が用意されていることが大切である。 		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場ではその都度対応しているが、組織的かつ適切に対応していくためにもマニュアルを策定し、定期的に見直すことが望まれることから、b評価とした。 		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価・見直しする体制ができていないので、今後確立が望まれる。その際には、ヒヤリハット・事故報告の収集が重要であることから、b評価とした。 		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防マニュアルを策定し、過去の事例を踏まえ、看護師を中心に徹底的に取り組んでいることから、a評価とした。 		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に一度の避難訓練など、安全確保のための取組が行われている。 ・備蓄リストの作成、関係者名簿の更新が必要である。また、地元自治会や他団体等との連携が求められることから、b評価とした。 		

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準的な実施方法について、具体的にわかりやすく文書化されている。また、全国児童養 		

<p>護施設協議会作成の手引書である「この子を受け止めて育むために」を必携とする、などの取組を行っている。</p> <p>・実際に実施されているのかを確認する仕組みづくりが求められることから、b評価とした。</p>		
41	<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	b
<p><コメント></p> <p>・毎年度当初に見直しを行うことになっているが、今年度は実施されていないとのことであった。</p> <p>・職員だけでなく、子どもの意見や提案も反映された検証・見直しが行なわれる仕組み作りが求められることから、b評価とした。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。</p>	b
<p><コメント></p> <p>・自立支援計画を処遇会議で協議して策定されている。</p> <p>・アセスメントシートを活用するなど、手法確立が求められることから、b評価とした。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に養育・支援実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	b
<p><コメント></p> <p>・10月、3月に定期的な見直しを行っている。</p> <p>・必要に応じて緊急の見直しが行なわれるような仕組みの構築が求められることから、b評価とした。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	b
<p><コメント></p> <p>・ケース記録は専用ソフトが導入されている。</p> <p>・子どもの強みや長所、発見などに配慮した記録、記録の共有化の範囲等、ルールや書き方の統一化を図り、記録内容の充実のための取組が求められることから、b評価とした。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	b
<p><コメント></p> <p>・個人情報保護規程が作成され、パスワード管理が行なわれている。</p> <p>・管理責任者の明示が必要であるため、b評価とした。</p>		